



南阿二於ケル中央銀行ノ設立

松崎, 壽

(Citation)

經濟學商業學國民經濟雜誌, 31(6):883-902

(Issue Date)

1921-12

(Resource Type)

departmental bulletin paper

(Version)

Version of Record

(URL)

<https://hdl.handle.net/20.500.14094/00053379>



南阿ニ於ケル中央銀行ノ設立

大阪高等商業學校教授

商學士 松

崎

壽

一

大戰ニヨリテ歐洲諸國ノ銀行券制度ハ著シキ變調ヲ蒙リ、將來ニ於テ戰前ト同様ナ金兌換ノ制度ニ復歸スベキヤ或ハ現在ノ不換紙幣ノ制度ヲ其儘繼續スベキヤハ學問上實際上極メテ重大ナル問題トナツテ居ル。尤モ實際ノ狀態ニ就テ觀察スルトキハ、現今金準備ノ割合ハ英佛伊等ノ聯合國側ニ於テモ漸ク一割三分乃至一割五分ヲ出デナイノデアツテ、獨逸、匈等ノ同盟國側ニ於テハ其窮迫ノ度更ニ一層甚ダシク、僅ニ一分五厘乃至二分ニ過ギナイノデアルカラ、近キ將來ニ於テ金兌換ノ恢復ハ事實上到底望マレナイ。從ツテ單ニ理論上バカリデナク、實際上ノ必要ヨリシテモ不換紙幣存續論ヲ生ズルノデアルガ、兎モ角不換紙幣ヲ本位トシテ、金兌換ノ無用ヲ唱フル論者ハ漸次増加セントスル趨勢ヲ示シテ居ル。元來不換紙幣論者ハクナツプ教授ノ亞流ヲ汲ム獨逸ニ於テ殊ニ多イノデアルガ、最近ニ至

リテハ英米ニ於テモキトソン (Kitsun, Money Problems, 1920) ケーラー (Koehler, The passing of the Gold Reserve, 1920) 等ノ論者ヲ出シ、又伊太利ノアキレ、ローリア教授モ將來ノ通貨制度トシテハ從來ノ金本位制ニ代フルニ、國內ノ支拂ニ對シテハ不換紙幣ヲ使用シ、對外ノ支拂ニ對シテノミ其金兌換ヲ認ムルノ恰當ナルコトヲ主張スルニ至ツタ程デアル (Loria, Le Peripezie Monetarie della Guerra, 1920, p. 146-147, Economic Journal, Mar., 1921 所載ノ紹介文ニ據ル)。但シ斯ク論ズルモ英米ニハ今尙金兌換即チ金本位制ノ復歸論者ガ最モ多ク殊ニ米國ニ於テハ其國情ノ然ラシムル所デハアルガ、同論者ガ甚ダ多イヤウデアル。昨年ブラッセルノ國際財政會議ニ於テ左ノ如キ決議ヲ見タノモ、英米側ニ於ケル主張ノ貫徹ヲ語ルモノデアルト思フ。

Without entering into the question whether gold is or is not the ideal common standard of value, we consider it most important that the world should have some common standard, and that as gold is to-day the nominal standard of the civilised world, it is highly desirable that the countries which have lapsed from an effective gold standard, should return thereto.

斯クノ如ク戰後ノ銀行券制度ハ理論上、實際上混沌タル狀態ニ陥ツテ居ルノデアルカラ、斯ル時機ニ際シテ、新タニ通貨制度ヲ樹立セントスルニ當リテハ舊來ノ

金兌換ノ制度ヲ依然踏襲スベキヤ、或ハ徹底的ニ不換紙幣又ハ其レニ近キ制度ヲ採用スベキヤハ學問上重要ナル問題デアツテ、何レニスルモ其内容ノ如何ハ世人ノ注目スベキ焦點トナルモノト言ハナクテハナラス。此意味ニ於テ大戰後先ヅ第一着ニ設立セラレタ南阿聯邦ノ中央銀行並ニ其銀行券發行制度ハ極メテ興味アル研究ノ標的タルヲ失ハヌノデアル。尙銀行券制度ニ關聯シテ、大戰以來中央銀行ニ關シテ起ツタ他ノ重大ナル問題ハ各國トモ中央銀行ガ政治上ノ干涉 Political pressure ヨリ超然タルヲ得ナイデ、常ニ財政上ノ過重ナル壓迫ヲ被リ、國民ノ利害ヲ無視シテ、不當ニ一國ノ通貨並ニ信用ヲ膨脹セシメ經濟界ニ非常ノ弊害ヲ齎シタリトノ事實デアツテ、之モ亦戰後中央銀行ノ新設又ハ改革ニ際シテハ是非共解決シナケレバナラス重要問題トナツテ居ルノデアル。要スルニ種々ノ方面ヨリ看テ昨年設立セラレタ南阿ノ中央銀行ハ注目スベキ研究問題ヲ吾人ニ提供シテ居ルト思フ。是レ予ガ同銀行ノ内容一班ヲ論評シテ將來我國ニ於テモ必ズ起ラナケレバナラス中央銀行ノ改革問題ニ對シテ一篇ノ參考資料ヲ供セントスル所以デアル。

二

南阿聯邦ニ於ケル通貨及銀行制度ノ狀態ハ昨年新制度ノ樹立セラル、迄ハ聯邦準備法制定以前ノ合衆國ノ狀況ニ酷似セル點ガ少クナカツタ。即チ自治聯邦成立後ニ於テモ各州ハ尙固有ノ制度ヲ維持シタル爲メ其間ニ毫モ統一ヲ看ル所ナク、從ツテ商工業ノ急激ニ發達スルニ連レ益々其缺陷ヲ曝露シテ居ツタノデアル。例ヘバ銀行券制度ノ不統一ナル事實ヲ示セバ、各州トモ普通ノ商業銀行ガ銀行券發行ノ特權ヲ持ツテ居リ、且大體ニ於テ嚴格ナル金貨兌換ノ制度ヲ採ツテ居ツタコトハ一樣デアアルガ、細目ニ就テハ州ニヨリテ大ニ其趣ヲ異ニシ、即チケープ州ニ於テハ銀行券發行額ト同額ノ政府證券ヲ國庫ニ預託シ、且最低四割ノ金貨準備ヲ要ストシ(一八九一年ノ法律)トランスヴァールニテハ銀行券發行額ノ三分ノ一ニ相當スル金貨準備ヲ要シ、且其發行額ハ拂込資本金額ヲ超ユルコトヲ得ズトシ(一八九三年ノ法律)オレンヂ自由州ハ一九〇二年ノ法律ニヨリテトランスヴァールト全然同一ノ制度ヲ採用シタ。然ルニナタルニテハ事實上金貨兌換ヲ強制スルノミデアツテ、之ニ對スル何等ノ法規ヲモ有シテ居ラナカツタノデアル。斯クノ如ク不統一ナル制度ヲ採ツテ居ツタ爲メ、大戰ニヨリテ發生セル經濟界ノ混亂ニヨリ、其運用ハ益々困難ヲ加フルニ至ツタノデアル。即チ金ノ寶庫タル

南阿ニ於テモ大戰後ハ金貨ヲ獲ルコト漸次困難トナツタケレドモ、固ト南阿ニハ造幣局ノ設置ガナカツタ爲メ、各銀行ハ紙幣ヲ増發シテ、金貨ノ缺ヲ補スノ外大カツタ。斯クシテ紙幣ノ發行ハ商工業ノ勃興ニヨリテ益々増加シ、殊ニ物價ノ騰貴ハ此趨勢ヲ一層助長スルニ至ツタカラ、一九一三年ニハ其總發行額二百十萬磅ニ過ギナカツタモノガ、一九二〇年三月ニハ九百萬磅ニ増進シテ、四倍餘ノ膨脹ヲ看ルニ至ツタ。然ルニ通貨ノ膨脹スルニ反シ、各銀行ノ保有スル金貨準備ハ漸次減少シテ總計七百萬磅以下ニ降り、銀行券其他銀行債務ノ總額九千萬磅ニ比スレバ其割合著シク低下シテ、兌換ノ基礎ハ大ニ薄弱トナツタノデアル。尤モ戰時以來金貨ノ輸出ハ禁止セラレテ居ツタガ、其禁止ハ極メテ不完全デアツテ、其流出ヲ阻止スルニ足ラズ、一九二〇年三月三十一日ニ終ル二年間ニ流通市場ヲ去リタル金貨ノ高ハ二百九十四萬五千磅ノ多キニ達シタト云フコトデアル。サレバ各銀行ハ更ニ紙幣ノ増發ヲナサントスルニハ、金貨準備ノ減少ヲ補填スルノ外ナク、又此目的ヲ達スルニハ本國ヨリ金貨ノ輸入ヲ圖ラナケレバナラナカツタノデアルガ、大戰中英貨ノ輸入ハ殆ンド不可能デアツテ、戰後地金市場ノ緩急解放セラレタ後ニ於テモ尙非常ノ困難ガアツタノデアル。從ツテ英貨ニ對スル需要ノ激増ハ忽

チ之ニ對スル打歩ノ發生ヲ促シ、殊ニ打歩ノ額ハ最近ニ至ツテ著シク増加シ最高四割ニ上ツタト云フコトデアル。茲ニ於テ乎各銀行ハ是等ノ打歩ニヨル金貨輸入ノ損失ヲ爲替相場ニ轉嫁スルノ已ムヲ得ザルコト、ナリ、爲メニ爲替相場ノ下落ハ打歩ノ増加ニ連レテ益々甚ダシク、殊ニ昨一九二〇年ニ入ルニ及ビテ、其傾向ハ一層顯著トナリ、同年五月ニハ倫敦宛電信爲替賣相場ニ於テ七分五厘、買相場ニ於テ八分ノ割引ヲ示スニ至ツタ。

斯クノ如キ爲替相場ノ變調ハ貿易業者ヲ害スルバカリデナク、殊ニ金ノ採掘業者ニ對シテ損害ヲ與フルコト少クナカツタカラ、適當ナル方策ヲ樹立シテ通貨ノ膨脹ヲ整理シ金貨ニ對スル打歩ヲ除去スルニ努ムルト共ニ、從來ノ如ク窮屈ニシテ、且、不統一ナル銀行券制度ヲ改善シテ信用制度ヲ確立スルノ必要ニ迫ラレ、終ニ昨二〇年七月南阿政府ハ通貨及ビ中央銀行ニ關スル一法案ヲ聯邦議會ニ提出スルニ至ツタノデアル。同法案ノ審議ニ當リテハ議會ニ於テ多少ノ曲折モアツタケレドモ、原案ハ大ナル修正ヲ受ケズシテ、九月首尾ヨク通過シ十二月十七日ヨリ實施セラル、ニ至ツタ。要スルニ南阿ニ於ケル通貨及銀行制度ノ改革ハ明カニ戰爭ニヨリテ促進サレタノデアル。

三

前項ニ於テ述ベタルガ如キ事情ニヨリテ昨年制定セラレタ南阿ノ通貨及銀行法 The South African Currency & Banking Act, 1920 ハ其内容ニ部ニ分レ、第一部ハ通貨ノ整理ニ關スルモノデ、第二部ハ中央銀行ノ設立ニ關スルモノデアル。本稿ハ後者ニ就テ説明スルヲ主眼トスルノデアアルカラ、前者ニ就テ詳説スルノ必要ハナイケレドモ、只序ヲ以テ其内容ヲ一言セバ第一部ハ主トシテ金貨ノ流出並ニ打歩ノ發生ヲ阻止スルヲ目的トスルモノデアツテ、即チ從來ノ金貨及ビ銀行券ノ外ニ新タニ金貨證券 Gold certificate ナルモノヲ設ケ、金貨及ビ十志以上ノ地金ヲ國庫ニ提供スルトキハ、金貨ニ對シテハ、其額面價格ヲ以テ、又地金ニ對シテハ本國ノ造幣價格タル「オンス」ニ就キ三磅十七志十片半ノ割合ヲ以テ提供金額ニ相當スル金貨證券ヲ交付スルコト、定メテ居ル。此種ノ證券ハ無制限法貨デアツテ、且要求次第金貨ト兌換セラレルケレドモ、金ノ市價ガ三磅十七志十片半ヲ超ユルトキハ其兌換ハ停止セラレ、又斯ル場合ニハ大藏省ハ聯邦内ニ於ケル各銀行ノ有スル金貨及ビ地金ノ全部若クハ一部ヲ強制的ニ國庫ニ提供セシメ、之ニ對シテ該金貨證

券ヲ交付スルコトガ出來ルノデアル。尙法律ハ此種ノ金貨證券ニ對シテハ勿論聯邦内ニ流通スル各種ノ銀行券並ニ其他ノ通貨ニ對シテモ打歩ヲ附シ、或ハ其額面以上ノ價格ヲ以テ授受スルコトヲ禁止シテ居ル。但シ第一部ノ規定ハ總テ過渡的ノモノデアツテ、一九二三年六月三十日以後ニハ其効力ヲ失フコト、シ、尙同時期迄ニハ聯邦内ニ造幣局ヲ設置シ、又第二部ニ規定スル中央銀行ノ完成ニヨツテ、金準備ヲ基礎トスル銀行券制度ヲ確立シ、名實共ニ大戰以前ヨリハ一層堅實ナル金本位制ニ復歸スル豫定デアル。

第二部ハ通貨及銀行法ノ眼目デアツテ、即チ南阿準備銀行 South African Reserve bank ト稱スル中央銀行ヲフレトリヤニ設立セントスルモノデアル。蓋シ同銀行ハ英國ノ屬領ニ於ケル最初ノ純然タル中央銀行ト稱スベキモノデアラウト思フ尤モ中央銀行ニ類スルモノハ既ニ濠洲ニ Commonwealth Bank ガアルケレドモ、同行ハ「倫敦銀行雜誌」ノ論ズルガ如ク未ダ中央銀行トシテノ完全ナル機能ト地位トヲ有スルモノデハナイカラデアル。夫ハ兎モ角南阿ノ新銀行ハ植民地中央銀行制度ノ熱心ナル主張者デアル南阿人ストラコツシュ氏 Strakosch ノ提案ヲ採用シテ、其組織ヲ計畫セルモノデアツテ、合衆國ノ聯邦準備銀行ヲ模倣セル點ガ非常ニ

多イ。次ニ種々ノ方面ヨリ同銀行ノ制度ヲ説明シヤウト思フ。

第一、銀行ノ組織　南阿準備銀行ハ壹百萬磅ノ資本金ヲ有スル株式會社デアツテ、其資本金ノ半額ハ聯邦内ニ於ケル各銀行ガ其資本金及ビ積立金ニ比例シテ之ヲ贖出シ、殘額ハ一般ニ公募スルモ、若シ其應募額ノ不足ナルトキハ國庫ニ於テ之ヲ補填スルコト、定メテ居ル。銀行ノ幹部ハ總裁、副總裁 Governor & Deputy-governor 各一名、理事九名ヨリ成リ、理事ノ内三名ハ株主銀行中ヨリ銀行業ニ關シテ、相當ノ經驗ヲ有スル者ヲ選出シ、他ノ三名ハ現ニ農商工業等ニ從事セルモノヨリ選出シ、殘リ三名ハ政府ノ任命ニ係ルノデアアル。總裁、副總裁ハ南阿總督ノ親シク任命スル所デアアルガ、尙銀行業ニ經驗ヲ有スル者タルヲ要ストシ、且專任デアツテ、其任期ハ五年ト定メラレテ居ル。斯クノ如ク政府側ノ任命ニ係ル重役ノ少キコトハ、銀行ヲシテ政治上ノ干涉ヨリ離脱セシメントスル用意ニ基クモノデアツテ、尙銀行ノ幹部ヲシテ政黨政派ノ關係ヨリ超然タラシメンガ爲メ、總テ準備銀行ノ重役ハ聯邦議會又ハ州議會ノ議員ヲ兼スルコトヲ得ズト規定シテ居ル。尙獨リ政治上ノ關係ノミデナク、一般ノ產業ニ對シテモ公正ナル態度ヲ採ランムルノ必要上、出資額ノ割合ニ多額ナルニモ拘ハラズ、銀行側ノ重役ヲ僅カニ三名ニ制限シテ、其他

ノ産業者中ヨリ同數ノ重役ヲ選出スルコト、ナセル點ハ前者ト併セテ注目スベキモノデアルト思ハレル。

第二、配當ノ制限 中央銀行ハ銀行ノ銀行 Banker of the Banks 並ニ一國信用ノ擁護者 Guardian of the Country's credit トシテ特ニ非常ノ際有力ナル機能ヲ發揮スベキ公共的職務ヲ有スルモノデアルカラ、其營業方針ヲ營利本位ニ置クガ如キハ絕對ニ不可デアツテ、此點ハ何人モ異論ノナイ所デアル。サレバ此主義ニヨリ南阿準備銀行ハ其配當額ヲ一定率ニ制限セラレ、且開業當初ハ専ラ積立金ヲ潤澤ナラシムルノ方針ヲ採ルベキコトニナツテ居ル。即チ積立金ガ拂込資本金額ノ二割五分ニ達スル迄ハ株主ノ配當ヲ年六分(此配當ハ累積的 Cumulative ノモノデアル)ニ制限シ其超過收益ハ悉ク之ヲ積立金ニ繰入ルベキコト、其次ニ積立金ガ拂込資本金額ト同額ニ達スル迄ハ年六分ノ配當ヲ超過スル收益ハ其二分ノ一ヲ積立金ニ繰入レ、四分ノ一ヲ國庫ニ歸屬セシメ、残り四分ノ一ヲ株主ノ附加配當ニ充テルコトガ出來ルモノトシテ居ル。但シ此附加配當率ハ拂込資本金額ノ四分ヲ超ユルヲ得ザルモノトシ、若シ四分ヲ越ユルトキハ其超過額ハ悉ク國庫ニ歸屬セシムルノデアル。斯クシテ積立金ガ拂込資本金額ト同額若シクハ其レ以上ニ達スル

トキハ株主ノ配當ハ年一割ニ制限セラレ、其超過收益ハ總テ國庫ニ歸屬スベキモノト定メテ居ル。要スルニ株主ノ配當ハ最高一割ニ制限セラレテ居ル譯デアル。

第三、銀行ノ業務 準備銀行ノ業務ハ先進國ノ中央銀行ト大體ニ於テ同様デアルケレドモ、只幾分異ル點ノミヲ擧グレバ、預金ハ當座預金及ビ別段預金代金取立ニヨツテ發生シタ場合ノ二種ニ限リ、定期預金 Time deposit ハ之ヲ營ムコトガ出來ナイ。次ニ割引ハ(一)二名以上ノ署名ヲ有シ、期限九十日ヲ超エザル商業手形(二)二名以上ノ署名ヲ有シ、若シクハ農產物、家畜、農具等ヲ擔保トスル期限六ヶ月ヲ超エザル農業手形(三)政府證券ノ取引ニヨリテ發行セラレ、銀行ノ裏書ヲ有スル期限九十日以内ノ手形等ノ割引並ニ再割引ニ限ラレテ居ル。但シ此內農業手形ノ割引額ハ總割引額ノ二割ヲ超過スルヲ得ザルモノトシテ居ル。貸付ハ(一)株式、社債又ハ六ヶ月ヲ超エザル聯邦政府及ビ各州政府發行ノ手形(二)金貨、地金及ビ船荷證券、倉庫證券(三)割引ノ場合ト同條件ナル外國爲替手形、銀行引受手形等ヲ擔保トスル貸付及當座貸越ニ限ラレテ居ル。但シ償還期限ノ二年以上ニ亘ラザル聯邦政府又ハ外國政府發行ノ證券ヲ擔保トシテ拂込資本金額及ビ積立金額ヲ超過セザル範圍ニ於テ貸付ヲナスコトハ之ヲ認メラレテ居ル。其他内外爲替、代金取立等

ノ業務ヲ營ミ得ルコトハ普通ノ商業銀行ト同様デアツテ、外國宛ノ個人引受手形並ニ銀行引受手形等ノ賣買、電信爲替、信用狀等ノ發行ヲモナシ得ルコトハ論ヲ俟タナイ。

以上ノ外法律ハ特ニ同行ノ從事スルヲ得ザル業務トシテ、(一)産業ヲ經營スルハ勿論、商工業其他ノ企業ニ關係スルコト、(二)自行並ニ他銀行ノ株式ヲ購入シ又ハ其レヲ擔保トシテ貸付ヲナスコト、(三)目已ノ營業用以外ノ不動產ヲ取得シ又ハ其レヲ抵當トシテ貸出ヲナスコト、(四)總テ無擔保ノ貸出ヲナスコト、(五)一覽拂以外ノ手形ヲ振出又ハ引受クルコト、(六)當座預金殘額ニ利子ヲ附スルコト等ノ諸項ヲ列舉シテ居ル。

第四、銀行券ノ發行 準備銀行ハ聯邦内ニ於ケル銀行券發行ノ獨占權ヲ有シ、其期限ヲ二十五年ト定メラレテ居ル。而シテ銀行券ノ發行額ニ對シテハ其四割ヲ金貨又ハ地金ヲ以テ準備トシ、其餘ノ六割ハ商業取引ニヨリテ發生シタル所謂商業手形 Commercial papers or trade bills ヲ以テ準備トナスコトヲ要スルノデアル。但シ特ニ緊急ノ際ノ需要ニ應ズル爲メ、大藏省ノ認可ヲ得テ三十日ヲ超過セザル期間ニ限り、金準備ノ割合ヲ低下スルコトヲ得ルモノトシテ居ル。但シ此期間ハ必

要ニ應ジ更ニ延長スルコトモ出來ルノデアツテ、其ノ場合ニハ十五日毎ニ認可ノ更新ヲ受ケナケレバナラヌ。而シテ準備率ノ低下スルトキハ發行稅ヲ課セラル、ノデアツテ、即チ準備率ガ三割二分五厘迄下ルトキハ年一分ノ發行稅ヲ課スルコト、シ、三割二分五厘以下ニ降ルトキハ、毎二分五厘ニ就キ年一分五厘ノ割合ヲ以テ稅率ヲ累進セシムルノデアル。蓋シ斯ク累進稅ヲ課スルコトハ銀行ガ金準備ノ減少スルニ連レ少クトモ該稅率ト等シキ割合ヲ以テ、割引並ニ貸付歩合ノ引上ヲナスベキコトヲ豫想シテ居ルノデアル。

準備銀行ガ右ノ條項ニヨツテ、銀行券發行ノ獨占權ヲ得ルコト、ナツタ爲メ、從來發行權ヲ有シタル商業銀行ニ對シテハ、本法ノ實施後十二箇月ヲ限リテ銀行券ノ發行ヲ繼續スルコトヲ許シ、且其發行額ニ對シテハ、ケープ州以外ノ諸州ニ於ケル銀行ニテモ最低四割ノ金準備(地金ヲ以テ充テルコトガ出來ル)ヲ置クコトヲ要スト規定シテ居ル。但シ準備銀行ハ右ノ十二ヶ月間ニ準備ヲ完成シ、新銀行券ノ發行ヲ開始スルヲ得ルハ勿論デアルガ、其場合ハ既存ノ諸銀行券トノ引換ニ於テノミ之ヲ發行スルコトガ出來ルノデアル。尙舊來ノ諸銀行券ニ對シテハ一九一九年十二月三十一日現在ノ流通額ヲ超過スル部分ニ對シ年三分ノ發行稅ヲ其發

行銀行ニ課スルコト、定メテ居ル。而シテ右ノ十二ヶ月ヲ經過セル後ハ各商業券行ハ爾後二年間ニ其銀行券ヲ回收シナケレバナラヌノデアル。

第五、預金準備其他ノ事項 準備銀行ハ銀行券ニ對スル叙上ノ金準備ノ外預金並ニ支拂手形總額ノ四割ニ相當スル金貨又ハ地金ヲ保有スルヲ要ストシ、若シ銀地金ヲ此準備金中ニ加フルトキハ、其割合ハ該準備額ノ二割ヲ超過スルコトヲ得ズト規定シテ居ル。而シテ右ノ預金準備額ノ四分ノ一ハ外國ニ於テ之ヲ保持スルモ差支ナキモノトシテ居ル。尙聯邦内ニ於テ營業ニ從事セル總テノ銀行ハ國內ニ於ケル要求拂債務 Demand liabilities (此内ニハ銀行券ヲ含マナイ)ノ一割三分及ビ定期拂債務 Time liabilitiesノ三分ニ相當スル準備金ヲ準備銀行ニ預託シナケレバナラヌノデアル。但シ急激ニ斯ル準備金ヲ強制スルコトハ困難デアルカラ、向フ三年間ハ要求拂債務ニ對スル準備金ノミハ其割合ヲ特ニ一割迄低下スルコトヲ許シテ居ル。

第六、銀行ノ監督 準備銀行ハ每週其營業狀態ヲ何人ニモ了解シ易キ形式ヲ以テ公表スルコトヲ要ストシテ居ル。尙同銀行ノ營業ハ常ニ大藏省ノ監督ヲ受クルノ外、立法部ノ嚴密ナル検査ヲ受クベキモノト規定シテ居ル。而シテ該検査ハ

三段ニ分レ、其ノ一ハ政府ノ任命セル委員ニヨリ、其ノ二ハ下院ノ委員會ニヨリ、其ノ三ハ下院其モノヨリ之ヲ受ケルノデアツテ、其用意ハ極メテ周到デアル。
以上ハ南阿準備銀行ノ制度ノ一斑デアツテ、尙細目ニ就テ述ブベキコトモアルガ、徒ニ煩ニ亘ルノミデアルカラ之ヲ省略スルコトニスル。

五

前項述べタル所ニヨリテ之ヲ見ルモ南阿準備銀行ガ合衆國ノ聯邦準備銀行ノ長所ヲ採用セル點極メテ多キハ明カデアツテ、尙幾分ハ英蘭銀行ノ長所ヲモ加味セルコトハ之ヲ窺フコトガ出來ルト思フ。其營業範圍ガ割合ニ嚴重ナル點ハ一國信用ノ擁護者タル中央銀行ノ地位ヲ考慮セル結果デアラウガ、定期預金ヲ營ムヲ禁ジタルガ如キ、又一覽拂手形ノ振出並ニ引受ヲナスヲ得ザルガ如キハ、必要以上ニ嚴ニ失セルモノデハアルマイカ。固ヨリ同銀行法ノ内ニハ卓越セル規定モ決シテ少クナイ。例ヘバ中央銀行ヲシテ營利ニ奔ルヲ禁ズル爲メ、其配當率ヲ制限シテ、收益ノ餘剩ヲ國家ニ歸屬スルモノトナセルガ如キ、或ハ信用制度ノ統一ヲ圖ルノ必要上準備金ノ集中政策ヲ採リタルガ如キ、或ハ又監督制度ノ嚴密ナルガ

如キハ其主ナルモノデアツテ、其他文明國ノ中央銀行法ニ餘リ類例ノナイ(米國ノ聯邦準備法ニハ之ヲ見ルケレドモ)農業保護ノ規定ノ如キモ注目スベキモノト言ハナケレバナラス。右ノ内配當率ノ制限ハ開業當初ハ年六分デアアルガ、結局ハ年一割トナルノデアアルカラ、聯邦準備銀行ノ年六分ニ比シ決シテ低イモノデハナイケレドモ、先進國ニ比シテ金融市場ノ發達ガ遅レテ居リ、金利ノ未ダ著シク低廉トナラザル南阿ニ於テハ此程度ヲ以テ大體ニ於テ正鵠ヲ得タモノト認ムベキデアラウ。勿論ベンディクセン氏ノ論ズル如ク、近世ノ銀行法ニ於テハ中央銀行ガ營利ノ目的ヲ以テ銀行券ノ發行ヲナスガ如キ態度ハ之ヲ許容シナイノデアアルガ、此主義ヲ徹底セシムルニハ配當率ヲ制限スルノガ最モ適當デアツテ此政策ハ汎ク各國ニ行ハル、ニ至ルデアラウ。兎モ角南阿ノ如キ後進國ニ於テ法律ヲ以テ中央銀行ノ配當率ヲ制限シ、其餘剩ヲ國庫ニ歸屬スベキモノトナセルハ甚ダ痛快ナル規定デアツテ、或程度迄ハ中央銀行ノ社會化ヲ實現セルモノデアルト思フ。

然レドモ吾人ガ新銀行法ニ就テ最モ興味ヲ覺ユル點ハ大戰以來喧囂ヲ極ムルニ至ツタ銀行券制度ニ關スル學理上ノ論爭ニ對シテ新制度ガ如何ナル解決ヲ與ヘタルヤノ問題はデアアル。英米ニ於テ金本位制復歸論者ノ多キコトハ冒頭述べ

タル處デアルガ、新銀行法ノ内容ハ英國ニ於テ今尙金本位制ニ膠着セル思想ノ如何ニ有力デアルカヲ明カニ説明セルモノデアツテ、實際ニ於テハ不換紙幣論ガ未ダ到底實行ノ域ニ入り來ラザルコトヲ裏書シテ居ルノデアル。而シテ新法律ガ米國ニ倣ツテ四割ノ金準備並ニ其準備率ノ減少及ビ其レニ伴フ發行税ノ累進等ノ制度ヲ設ケタルハ、聯邦準備法ノ制定以來一種ノ比例準備法ガ有力トナリ來ツタコトヲ示スモノデアツテ、戰前ノ獨逸及ビ我國現行ノ屈伸制限法モ此等ノ制度ヲ斟酌シテ改良ヲ加ヘラルベキ時機ニ達シタノデアラウト思ハレル。尙此問題ニ關聯シテ、予ノ特ニ高調シ度イ點ハ新銀行法ガ六割ノ保證準備ニ對シ、總テ眞正ナル商業手形ヲ以テ充テ、居ル點デアツテ、我日本銀行ガ今尙三十年前ノ舊法ヲ墨守シ、專ラ公債證書、大藏省證券、諸株券ヲ以テ保證準備ニ充當シツ、アツタ最近迄ノ狀態ヲ比較スルトキハ南阿ノ如キ邊境ニ於テ最モ進歩セル合理的の制度ヲ採用セルノ英斷ヲ賞揚シナケレバナラヌノデアル、要スルニ商業手形ヲ以テ保證準備トナスノ制度ハ我國ノ如キモ速ニ模倣シテ然ルベキモノト思フ。

尤モ準備銀行ノ發行制度ニ關シテハ尙異說ガアツテ、例ヘバチャップマン教授ノ如キハ新制度ガ四割ノ金準備ヲ有スルトキハ、無制限ニ銀行券ノ發行ヲナスコ

トヲ許シ、又場合ニヨリテハ此準備率ヲ減少シ得ルコトヲ認メテ他ニ適當ナル直接ノ制限方法ヲ設ケテ居ラスコトハ從來ノ發行制度ト同ジク銀行券ノ膨脹ヲ確實ニ制止スルヲ得ナイデアラウト論ジテ居ル。然レドモ此點ハ從來ノ諸制度ト同視スルヲ得ザル長所ガアルノデアツテ、チャツブマン教授ノ所說ハ必ズシモ正當デハナク、予ハ「英國經濟雜誌」ニ見ヘタスミス氏ノ所說ニ即シテ準備銀行ハ銀行券ニ對スル四割ノ金準備ト相並ンデ別ニ預金及ビ支拂手形ニ對スル四割ノ金準備(此割合ハ多キニ失スル程デアル)ヲ強制セラレ、金準備率ノ減少ニ對シテ累進稅ヲ課セラル、ノデアルカラ、其制限ハ間接デアルトハ云ヘ、十分有力ナモノデアツテ、從來ノ諸制度ニ比シ、通貨膨脹ノ危險ヲ著シク阻止シ得ルデアラウト觀察スルモノデアル。蓋シ金準備ノ重複ハ慥ニ過重ナル負擔トナツテ居ルカラデアル。

最後ニ論ズベキハ新銀行ノ制度ガ政治上ノ干涉ヲ除去スルニ就テ細密ナル注意ヲ拂ツタ點デアツテ、政府發行ノ證券ニ對スル貸出ニ就キ種々ノ制限ヲ加ヘタコトモ看過スベカラザル點デアルガ、更ニ一層顯著ナルハ重役ヲ以テ政黨政派ノ圈外ニ超然タラシムルニ努メタ點是デアル。尤モ總裁、副總裁ヲ官選トナセルノ外、三名ノ理事ヲモ政府ノ任命ニ委シタルハ、此主義ヲ徹底セシメタモノデハナイ

ガ、其レニテモ政府側ノ代表者ハ總體五名デアツテ、重役ノ過半數ニ達セナイノデア
アルカラ、南阿ノ如キ自治權ヲ獲テヨリ未ダ幾年ヲモ經過セズ官權ノ兎角萬能ニ
流レントスル傾向ノ多イ植民地的國家ニ於テハ、此程度ヲ以テ満足セザルヲ得ナ
イデアラウ。尙必ズシモ政治上ノ關係バカリデナク、重役ヲシテ成ルベク特殊階
級ノ利害ニ偏セシメナイヤウニシ、各種產業者ノ中ヨリ選任セント考慮シテアル
點モ特ニ注目ヲ要スベキデアル。

是ヲ要スルニ南阿聯邦ノ新中央銀行ハ金本位制復歸論ノ勝利ヲ語ルモノデア
ツテ、又國際財政會議ノ決議ノ實現セラレタモノト見ルコトモ出來ルノデア
ルガ
(實際ニ於テハ同會議ノ遙ニ以前ヨリ計畫セラレタノデア
ル)其制度ノ内容ハ種々
ノ方面ニ於テ首肯スベキ點ガ非常ニ多イノデア
ルカラ、我國ノ如キモ差向キ之ニ
ヨツテ啓發セラル、所ガ少クナイト思ハレル。但シ制度ノ良否ハ結局之ヲ運用ス
ベキ人物ノ如何ニ由ルコトハ言フ迄モナイコトデア
ルカラ、折角優良ノ制度モ運
用其人ヲ得ザレバ其眞價ヲ發揮スルコトハ出來ナイノデア
ルガ、幸ヒ南阿準備銀
行ハ三十五年間英蘭銀行ニ在リテ、金融界ノ事情ニ精通シ殊ニ同行計算課長トシ
テ令名ノアツタクレツグ氏 W. H. Clegg ヲ最初ノ總裁ニ迎フルコトヲ得タノデア

ルカラ將來ノ發展ハ蓋シ刮目スベキモノガアルデアラウ。中央銀行制度ノ研究ニ興味ヲ有スルモノハ其運用ノ結果ヲ注意セナクテハナラヌノデアアル。

本稿ヲ草スルニ當リ參考セル著書雜誌ハ次ノ如クデアル

Strakosch, The South African Reserve Bank, *Economic Journal*, June, 1921.

Chapman, South African Currency, *Economic Journal*, Dec, 1920. *

Smith, South African Currency, *Economic Journal*, Mar., 1921.

Kemmerer, The A B C of the Federal Reserve System, 1919.

Koehler, The passing of the Gold Reserve, 1920.

Bendixen, Geld und Kapital, 2 Aufl., 1920.

South African Reserve Bank, Australasian Insurance and Banking Record, Mar., 1921.

The Currency and Banking Act, Round Table, Dec., 1920.

The South African Reserve Bank, Bankers' Magazine, London, Jan., 1921.

South African Currency and Banking Reforms, Statist, Dec. 25, 1920.